

つなぐ

令和4年度、美濃地区3市のすべての小中学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクール(CS)がスタートしました。年度初めの取組を紹介します。

大中小コミュニティ・スクール発表会

(兼 郡上市教育委員会研究推進校中間まとめの会)

～今こそ考えたい 伝えたい 絆

未来(子ども)のためにできること～



運動場で作業をされる

地域の方

昨年度CSをスタートした郡上市では、CS発表会(中間まとめの会)をオンラインで開催しました。

今年の3月に文科省より出された「CSの在り方に関する最終まとめ」と「郡上市の動き」について説明された後に、大中小学校の実践紹介・各地域(ブロック)における学校運営協議会の取組について紹介されました。実践紹介では、旧学校評議員会で学校運営協議会のメンバーを決めたことや「当事者として子どもに関わることの大切さ」の周知に向けての取組について発表されました。また、地域や公民館と子ども(学校)の連携についても紹介がありました。

参加者からは、次のような感想が聞かれました。

1. 学校運営協議会についての国の報告書より「最近のコミュニティ・スクール」
2. 郡上市教育委員会の動き
3. 大中小の実践紹介
4. 市内各地域の学校運営協議会より



学校運営協議会
「熟議」での記録←

- ・子どもたちが地域の中で活躍し、地域に貢献しているんだという自己有用感を育てることが「ふるさとを愛し、未来を拓く子」の実現につながるのだと思います。
- ・「子どもたち=未来」ととらえて、地域の大人たちがいろいろ考えてくれている地域であることを思うと親として嬉しく思います。私もそんな思いで地域とかがわっていきたくと思いました。
- ・小学生・中学生が公民館の理事として地域行事にどんどん参加していけると面白そうです。小学生ならイベントのお世話をするとか、区民運動会が復活なら出番はありそう。中学生・高校生には来てもらって先輩として話す。SDGsの取り組みを聞かせてもらったり…。楽しみながら、地域とつながっていけるといいのかなと思いました。

楽しみながらできる、みんなが楽しめる、郡上の人々の温かさの感じられる…そんな工夫された地域の取り組みを共有することのできた研修会でした。

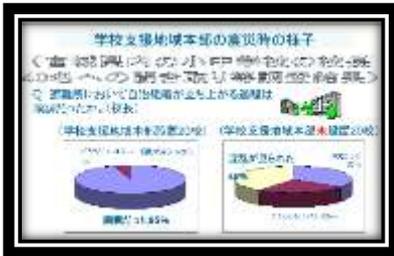
美濃市 第1回合同学校運営協議会【美濃中学校区・昭和中学校区】 ～地域社会と学校との連携・協働～

今年度よりCSがスタートした美濃市では、2つの中学校区ごとに合同学校運営協議会が行われました。(1)美濃市教育委員会による運営委員としての任命式と「美濃市が目指している学校運営協議会」についての説明(2)短期支援プログラムを利用した研修会、(3)中学校区・学校別の熟議の3部形式で行われました。



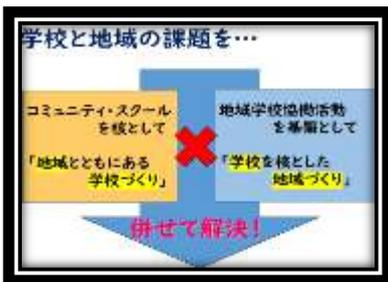
講演【岐阜大学地域協学センター長 益川浩一氏】

「運営委員としての役割」「連携・協働を推進していく際の留意点」について説明をしていただきました。また、地域と学校が連携を進めていたことで、災害時の対応がスムーズに行われた事例を紹介していただきました。



講演【岐阜県 環境生活政策課 生涯学習企画監 石井幹也氏】

地域学校協働活動を進めることは、地域と学校のそれぞれ抱える課題の解決につながることや、WinWinの関係になることについてお話をいただきました。



講演の後の学校別に行われた熟議では、アイスブレイクを取り入れた自己紹介や講演の感想交流、地域や学校への思いについてみなさん和やかな雰囲気の中でお話をされていました。

私たち大人もどう生きたらよいかわからないでいる。知恵や能力を付けて世の中で生きていくためにどうしたらいいのだろう。



熟議の様子

地域と学校が連携して取り組んでいることを多くの人に知ってもらうことが大切だと思った。自分のネットワークも使って広めていきたい。

【情報提供をお願いします】

美濃地区の社会教育、生涯学習振興の原動力となっていく活動や社会教育委員、公民館や生涯学習施設、地域と学校をつなぐ「地域学校協働活動」等の取組とそれに携わる方々の情報をこの通信でお伝えすることによって、美濃地区をつないでいきます。各地域における活動や広めたい取組等がありましたら、ぜひ情報をお寄せください。

